

第32回全国高等学校 選抜オーケストラフェスタ



令和8年1月7日（水）

12月25日(木)～28日(日)、東京都日本青年館にて「第32回全国高等学校選抜オーケストラフェスタ」が開催されました。この大会では、全国から集まる100校近く、述べ約3800人のオーケストラ部員が日頃の成果を発表し、メッセージカードによってお互いの努力を称え合います。今回も150人近くの大編成での選抜演奏の迫力に圧倒されたり10人での弦楽アンサンブルの豊かな響きに心が満たされたりと様々な刺激を得ることができました。演奏技術の高さや経験年数の長さだけでなく、各個人がその曲に対してどのように向き合い、仲間とどのように努力を重ねてきたかを感じることができました。

本校オーケストラ部は、サン=サーンス作曲『死の舞踏』と、ヴェルディ作曲『オペラ《アイダ》より凱行進行曲』を演奏しました。初めての経験への不安もありましたが、全員の緊張感と集中力が徐々に重なり合い、それに打ち勝っていく様子はまさに曲調にふさわしいものでした。次はいよいよ定期演奏会に向けて、更なる飛躍を目指します。



↑コンサートミストレスのアイコンタクト
でリハーサルが始まります。



←オーボエのA（う）の音に全員
の音と心を合わせます。



【中学生のみなさん】

大垣南高校オーケストラ部（通称：南高オケ）は、1年次生20名・2年次生17名の計37名で活動しています。オーケストラには、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロなどの弦楽器があることが特徴です。弦楽器は南高オケで初めて触れる人ばかり！みんなで練習すればあっという間に上達します。毎年、クリスマスに東京都まで1泊2日で演奏に出かけるのをみんなとても楽しみにしています。中学生のみなさん！私たちと一緒に南高オケで演奏しませんか？待ってます！